

平成15年3月期 決算短信

平成15年5月19日

住友製薬株式会社 大阪府中央区道修町二丁目2番8号

(URL <http://www.sumitomopharm.com/>)

(問合せ先) 責任者役職名 経 理 部 長
氏 名 溝 部 浩 二 TEL.(06)6229-5737

決算取締役会開催日 平成15年5月16日 (決算期 年1回 3月31日)

定時株主総会開催日 平成15年6月25日 中間配当制度の有無 有

1. 平成15年3月期の業績(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

(注1)記載金額は、百万円未満の端数を切捨てて表示しております。

(注2)1株当たり情報は「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)および「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)が平成14年4月1日以降に開始する事業年度の財務諸表から適用されることになったことに伴い、当期から同会計基準および適用指針によっています。

(1)経営成績

(単位;百万円)

	売上高	(対前期増減率)	営業利益	(対前期増減率)	経常利益	(対前期増減率)
平成15年3月期	138,282	(3.6%)	24,177	(28.0%)	21,106	(34.4%)
平成14年3月期	143,446	(14.0%)	33,574	(18.1%)	32,161	(11.9%)

	当期利益	(対前期増減率)	1株当たり 当期利益	株主資本 当期利益率	総資本 経常利益率	売上高 経常利益率
平成15年3月期	11,168	(35.9%)	61,676円	10.6%	12.1%	15.3%
平成14年3月期	17,434	(8.2%)	96,641円	17.6%	19.2%	22.4%

(注)期中平均株式数 平成15年3月期 180,400株
平成14年3月期 180,400株

(2)配当状況

(単位;百万円)

	1株当たり 年間配当金	1株当たり 年間配当金		配当金総額 (年間)	配当性向	株主資本 配当率
		中間	期末			
平成15年3月期	24,000円	15,000円	9,000円	4,329	38.8%	4.1%
平成14年3月期	38,000円	17,500円	20,500円	6,855	39.3%	6.9%

(3)財政状態

(単位;百万円)

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
平成15年3月期	175,862	108,427	61.7%	600,806円
平成14年3月期	171,628	102,893	60.0%	570,365円

(注)期末発行済株式数 平成15年3月期 180,400株
平成14年3月期 180,400株

(4)キャッシュ・フローの状況

(単位;百万円)

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
平成15年3月期	2,219	6,771	6,468	25,157
平成14年3月期	24,308	4,608	9,599	36,178

2. 次期の業績予想(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

(単位;百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益
平成16年3月期	140,000	23,000	22,000	12,000

当期及び次期の業績の概況

1. 当期の業績概況

当期の医薬品業界におきましては、デフレ不況が長期化し景気の停滞が続く中、昨年4月より業界平均 6.3%の薬価基準引き下げが実施されたほか、診療報酬改定等の医療費抑制を目的とした各種の制度の見直しが実施されるなど、厳しい状況の下に推移いたしました。このように医薬品の国内市場は拡大が見込めない状況にある上、一方では欧米製薬企業の日本での事業展開がますます加速しており、経営環境は一段と厳しさを増しております。

このような状況にあって、当社は営業面では、各分野にわたって対抗品が上市され競争が熾烈さを増す中、営業体制の強化拡充をさらに推進し、戦略的マーケティングの下、製品育成と市場シェアの維持・拡大に努めてまいりました。研究開発面では、昨年10月に共同研究等で協力関係にあった株式会社ジャパンエナジーから医薬事業を引継ぐ等、研究の強化策を進めてきたほか、欧米での臨床開発を強化・推進してまいりました。

販売面につきましては、当社は業界平均を上回る 8.1%の薬価改定の影響を受け、全社売上高は1,382億8千2百万円、前期比51億6千3百万円の減収となりました。医療用医薬品においては「アムロジン」(高血圧症・狭心症治療薬/持続性カルシウム拮抗薬)、「メロペン」(カルバペネム系抗生物質製剤)が引き続き伸長しましたが、「スミフェロン」(天然型インターフェロン- 製剤)は大幅な薬価引下げに加え競合品の影響もあり大きく減少し、また輸出については、東アジア向け輸出は好調に推移したものの、メロペネムバルクの販売が減少したこと等により、全体としては前期を下回る結果となりました。

利益面については、経営効率の向上に努めてまいりましたが、薬価引下げの影響に加え、将来の事業基盤の強化に向けた研究開発投資の増加や営業体制拡充に伴う諸経費の増加により、経常利益は211億6百万円と前期に比べ110億5千4百万円の減益となりました。また当期利益も111億6千8百万円と前期比62億6千5百万円の減益となりました。なお、当期の設備投資額(検収ベース)は新薬理研究棟の建設もあり、98億4千8百万円となりました。

2. 次期の業績見通し

平成16年3月期の売上高は、厳しい事業環境の中、重点品目を中心に拡販に努め、1,400億円を見込んでおります。利益面では研究開発費が引き続き増加する見込みであり、経常利益は220億円、当期利益は120億円の見通しであります。

3. 会社の対処すべき課題

これまで当社は、取り巻く事業環境が大きく変化する中、次の3点を重要経営課題として掲げ、経営体制の強化に取り組んでまいりました。

- (1) 効率的営業体制の確立・強化に基づく自社品の売上高拡大
- (2) 世界に通用する新薬の早期上市に向けた効率的な研究開発
- (3) 事業推進体制の革新と経営の効率化

今後、我が国においては長年にわたる経済停滞や構造的な財政難の中で医療費の抑制策は一層厳しさを増すものと思われます。一方では、欧米企業の国内医薬品市場でのアクティビティが一層加速してくるのは必至であり、当社が今後発展していくためには、グローバルな事業展開を図ることが必須となってまいりました。このような状況の下、当社は先に掲げた3つの課題に継続して取り組むとともに、新たに、「グローバルな事業基盤の構築」・「プロフェッショナルの育成」・「戦略的提携の積極的 pursuit」の3項目を課題に加え、将来に飛躍するため一層の事業基盤強化を図っていく所存であります。

薬効別売上高

(単位:百万円)

薬効分類		当 期 (自平成14年4月 1日 至平成15年3月31日)		前 期 (自平成13年4月 1日 至平成14年3月31日)		増 減	
製品名	薬効	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	率
神経系用薬		18,016	13.0	17,961	12.5	54	0.3
インテバン	鎮痛消炎剤	5,527	4.0	6,107	4.3	579	9.5
ドプス	神経機能改善剤	4,999	3.6	4,959	3.5	40	0.8
セディール	抗不安薬	3,376	2.4	3,349	2.3	26	0.8
ルーラン	抗精神病剤	1,780	1.3	1,110	0.8	670	60.4
その他		2,332	1.7	2,435	1.7	103	4.2
循環・呼吸・消化器系用薬		52,010	37.6	51,835	36.1	174	0.3
アムロジン	高血圧症・狭心症治療薬	38,928	28.2	36,681	25.6	2,246	6.1
タガメット	H2受容体拮抗剤	5,910	4.3	7,725	5.4	1,814	23.5
アルマール	高血圧・狭心症・不整脈治療剤 本態性振戦治療剤	4,363	3.2	4,459	3.1	95	2.1
その他		2,808	2.0	2,969	2.1	161	5.4
ホルモン剤		7,992	5.8	7,947	5.5	44	0.6
グロウジェクト	遺伝子組換え天然型 ヒト成長ホルモン製剤	5,462	4.0	5,495	3.8	33	0.6
プロスターール	前立腺肥大症・癌治療剤	1,152	0.8	1,198	0.8	46	3.9
その他		1,377	1.0	1,253	0.9	124	9.9
生物学的製剤及び腫瘍用薬		7,683	5.6	12,597	8.8	4,914	39.0
スミフェロン	天然型インターフェロン - 製剤	7,573	5.5	12,590	8.8	5,017	39.8
カルセド	抗悪性腫瘍性抗生物質	102	0.1	-	-	102	-
その他		7	0.0	7	0.0	0	2.2
抗生物質		17,989	13.0	18,200	12.7	210	1.2
メロペン	カルバペネム系抗生物質製剤	17,937	13.0	18,136	12.6	199	1.1
その他		52	0.0	64	0.0	11	18.1
医薬品その他		19,893	14.4	21,189	14.8	1,296	6.1
ジルテック	アレルギー性疾患治療剤	9,995	7.2	10,023	7.0	27	0.3
ヒピテン	殺菌消毒剤	3,491	2.5	3,861	2.7	370	9.6
ダイドロネル	骨代謝改善剤	3,100	2.2	4,163	2.9	1,062	25.5
その他		3,306	2.4	3,141	2.2	165	5.3
医薬品計		123,586	89.4	129,733	90.4	6,147	4.7
その他 (診断薬、医療材料 医薬バルク、中間体 他)		12,735	9.2	12,121	8.5	613	5.1
工業所有権等収益		1,961	1.4	1,590	1.1	370	23.3
合計 (うち輸出)		138,282 (9,236)	100.0 (6.7)	143,446 (10,700)	100.0 (7.5)	5,163 (1,463)	3.6 (13.7)

貸借対照表

科 目	当 期 (平成15年) 3月31日	前 期 (平成14年) 3月31日	増 減	科 目	当 期 (平成15年) 3月31日	前 期 (平成14年) 3月31日	増 減
	百万円	百万円	百万円		百万円	百万円	百万円
(資 産 の 部)	(175,862)	(171,628)	(4,233)	(負 債 の 部)	(67,434)	(68,734)	(1,299)
(流 動 資 産)	(120,675)	(118,541)	(2,134)	(流 動 負 債)	(51,537)	(51,758)	(221)
現金・預金	3,157	4,178	1,020	支払手形・買掛金	21,221	20,458	763
受取手形・売掛金	56,733	56,716	17	短期借入金	2,804	2,504	300
棚卸資産	27,598	16,452	11,145	その他流動負債	27,511	28,796	1,285
預け金	22,000	32,000	10,000	(固 定 負 債)	(15,897)	(16,975)	(1,078)
繰延税金資産	5,198	4,460	738	長期借入金	345	844	498
その他流動資産	6,071	4,973	1,098	退職給付引当金	10,801	11,350	548
貸倒引当金	84	239	155	その他固定負債	4,749	4,781	31
(固 定 資 産)	(55,186)	(53,087)	(2,099)	(資 本 の 部)	(108,427)	(102,893)	(5,533)
有形固定資産	30,916	28,509	2,406	(資 本 金)	(9,020)	(9,020)	(-)
無形固定資産	5,519	6,645	1,126	(利 益 剰 余 金)	(98,585)	(93,866)	(4,718)
繰延税金資産	9,196	8,394	802	利益準備金	2,255	2,255	-
投資等	9,555	9,538	17	特別償却積立金	18	40	22
				別途積立金	81,000	70,000	11,000
				当期未処分利益	15,312	21,571	6,259
				(うち当期利益)	(11,168)	(17,434)	(6,265)
				(株 式 等 評 価 差 額 金)	(822)	(7)	(815)
				その他有価証券 評価差額金	822	7	815
合 計	175,862	171,628	4,233	合 計	175,862	171,628	4,233

	百万円	百万円
有形固定資産の 減価償却累計額	48,396	45,524
(うち当期減価償却額)	(3,983)	(4,203)

キャッシュ・フロー計算書

科 目	当 期	前 期	増 減
	(自 平成14年4月 1日) (至 平成15年3月31日)	(自 平成13年4月 1日) (至 平成14年3月31日)	
	百万円	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期利益	21,106	32,161	11,054
減価償却費	8,112	7,690	422
引当金の増減	497	1,512	1,014
受取利息および受取配当金	138	139	1
支払利息	103	155	52
売掛債権の増減額	17	3,312	3,294
棚卸資産の増減額	11,145	192	10,953
買掛債務等の増減額	763	430	1,193
役員賞与の支払額	46	46	-
その他の増減	1,205	2,563	3,768
小計	17,034	36,936	19,902
受取利息および受取配当金の受取額	141	146	5
利息の支払額	103	117	14
法人税等の支払額	14,853	12,657	2,195
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,219	24,308	22,089
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券の取得による支出	89	189	99
有価証券の売却による収入	-	20	20
固定資産の取得による支出	6,682	4,443	2,239
固定資産の売却による収入	0	4	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,771	4,608	2,163
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の増減	-	60	60
長期借入金の返済による支出	64	68	4
配当金の支払額	6,404	9,471	3,066
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,468	9,599	3,130
現金および現金同等物の増加額	11,020	10,101	21,122
現金および現金同等物の期首残高	36,178	26,077	10,101
現金および現金同等物の期末残高	25,157	36,178	11,020